



医療
法人

高岡みなみハートセンター

みなみの杜病院

心臓血管ドックのご案内

心臓血管病の早期発見のため、心臓血管ドックを行っております。
対象；メタボリック症候群と診断された方、喫煙習慣のある方、心筋梗塞や脳卒中の家族のいる方など

狭心症/心筋梗塞

末梢動脈疾患

頸動脈硬化症

腎動脈狭窄症

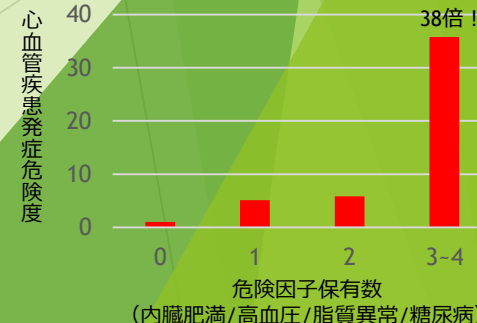
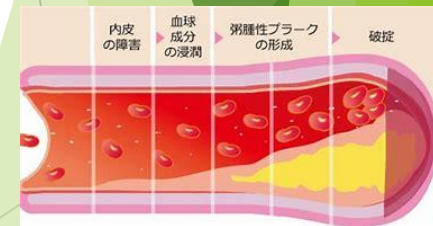
全身の動脈硬化

アテローム血栓症・・・動脈硬化に起因する疾病を総称して‘アテローム血栓症’と称します。脳卒中、心筋梗塞、下肢末梢動脈疾患を指します。働き盛りの人を突然襲い、重大な後遺症を残したり死に至らしめる怖い病気です。世界的には、約1/4の人がアテローム血栓症により亡くなっており、日本においても死亡原因の上位を占め、現在も増加傾向を示しております。

メタボリック症候群・・・内臓肥満（腹囲男性> 85 cm、女性> 90 cm）に加え、血圧上昇（収縮期135mmHg以上/拡張期85mmHg以上）や脂質異常（中性脂肪上昇/善玉コレステロール低下）、血糖（空腹時血糖>110mg/dL）上昇のうち、2つ以上を合併するとメタボリック症候群と診断されます。心血管病を発症するリスクが上昇することが知られています。

虚血性心疾患・・・心臓を栄養する冠動脈に‘アテローム’が蓄積して血管が狭くなったり閉塞したりする病気です。狭心症、心筋梗塞があります。アテロームが蓄積する原因として、**喫煙**、**肥満**、**高血圧**、**脂質異常症（高脂血症）**、**糖尿病**、**体質**（家族の方が罹患している場合は注意が必要です）などがあり、リスク因子が重なると相乗的に虚血性心疾患の発症リスクが上昇することが知られています。早期発見、早期治療により「救える命」をできるだけ多く救いたいとの思いで『心臓血管ドック』を開設しました。

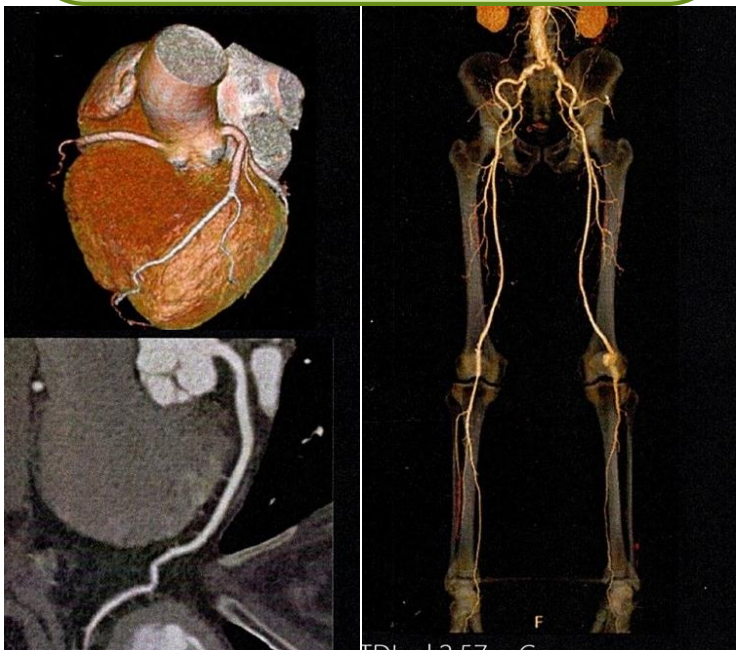
アテロームの進展



冠動脈CT

最新型の超高速CTを採用

高速回転する管球により、常に拍動する心臓の血管を明瞭に描出することが可能になります。従来のCTと比較し、線量（低被ばく）や使用造影剤量を抑えながらも、高い診断能力を発揮します。



ABI検査

腕と足首の血圧を同時に測定する検査です。腕の血圧に対する足首の血圧比を算出することで、足の血管の動脈硬化を検出します。



アテローム性動脈硬化による狭窄、閉塞を診断する指標

ABI = $\frac{\text{足首最高血圧}}{\text{上腕最高血圧}}$
(左右高い方)

ABIは、ABPI, API (Ankle Brachial Pressure Index), AAI (Ankle-Arm Index)とも呼ばれる。

評価基準 (AHA Medical/Scientific Statement 1993) 一部改定

- ABI ≤ 0.9 ▶ 動脈閉塞の疑いがある
- ABI ≤ 0.8 ▶ 動脈閉塞の可能性が高い
- $0.5 < \text{ABI} \leq 0.8$ ▶ 動脈閉塞が1カ所はある
- ABI ≤ 0.5 ▶ 動脈閉塞が複数カ所ある

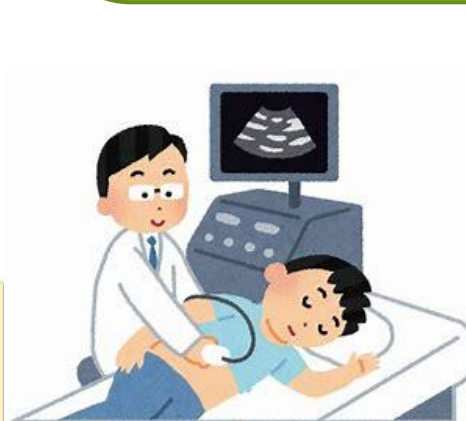
エコー検査

心エコー；心臓の収縮機能、心臓の弁の異常（弁膜症）がないかをチェックします。

頸動脈エコー；首の動脈（頸動脈）に動脈硬化がないかをチェックします。頸動脈における内膜 中膜複合体の厚さ（Intima Media Thickness：IMT）および性状から脳梗塞のリスクおよび全身の動脈硬化の進展度を推測できることが知られています。

腎動脈エコー；高血圧の一部に腎動脈狭窄が関与しています。

下肢動脈エコー；ABI検査で異常を認めた場合、下肢のどこで狭窄があるかを検査します。



オプション

問診/診察

身体測定

血圧測定

血液検査

心電図検査

動脈硬化検査
(ABI)

エコー検査
心臓/下肢動脈/
腎臓/頸動脈

冠動脈CT
(造影剤を使用
します)

脳MRI

ドック内容

料金；30,000円（税込み）

オプション；+5,000円（税込み）

※所用時間；午前9時から午後5時（昼食がでます）

※最終結果の説明は、当日循環器専門医が行い、後日検査結果報告書をご自宅に郵送いたします。



実施曜日；金曜日

お申込みは電話かEメールで

0766-63-1113（代表）

hospital@takaoka-minami.jp